

第106回暁木一水会例会の記録

1. 日 時 平成20年8月6日（水）18:00～21:00

2. 場 所 湊川神社 楠公会館

3. 出席者 73名

4. 講演会

(1) 演題 鉄道、そして神戸

(2) 講師 ジェイアール西日本コンサルタンツ(株)

技術顧問 星野鐘雄氏

国鉄がなぜ経営破綻したのか、民営・分割はどうして可能だったのか、JRになって何が変わったのか、鉄道空白域での新駅建設（甲南山手、須磨海浜公園駅等）、神戸市の復興事業にあわせた駅改良など、多岐にわたる話についてパワーポイントで分かりやすくご講演頂きました。

また、整備が進んでいる北陸新幹線の延伸が停滞すれば、東京一極集中ネットワークが強化され、富山、金沢は大阪より東京が近くなるという話を聞き、関西圏の人間として危機感を覚えました。

最後に神戸との係わりについてお話を頂きました。山陽新幹線の新神戸駅、住吉駅と六甲ライナー、神戸駅とハーバーランドなど多くのかかわりを持たれたとのことでしたが、神戸との最初の出会いが現在改築の進んでいる灘駅だったそうで、2つの改札口にまつわるエピソードについても触れられ、和やかな雰囲気の中で講演会が終了しました。

5. 懇親会



■ 松下累宏代表世話人あいさつ



■ 星野鐘雄氏の講演



■ 講演会



■ 三木秀樹氏 乾杯の発声



■ 懇親会



■ 石岡会長からの報告



■ 楠 正幸氏 中締め